

平成 30 年 9 月 3 日現在

機関番号：32689

研究種目：若手研究(B)

研究期間：2013～2017

課題番号：25770023

研究課題名(和文) 東南アジアにおけるイスラーム法学の受容と展開 学びの中心とウラマーのネットワーク

研究課題名(英文) The Diffusion and Development of Islamic Law in Southeast Asia: The Centers for Learning and the Ulama Networks

研究代表者

塩崎 悠輝 (SHIOZAKI, Yuki)

早稲田大学・イスラーム地域研究機構・その他(招聘研究員)

研究者番号：00609521

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,200,000円

研究成果の概要(和文)：研究期間全体を通じての研究の成果は、単著『国家と対峙するイスラーム マレーシアにおけるイスラーム法学の展開』(作品社)および他の著書、論文にまとめられ、刊行された。これらの研究成果は、マレー語やアラビア語の膨大な一次資料の分析と長年に渡る現地調査に基づいており、東南アジアのイスラームに関する研究への大きな寄与である。今後の研究に結びつく現地調査も行われた。これらの研究は、東南アジアのイスラーム、中東と東南アジアの間のイスラームについての知的交流に関するこれまでの研究が、着実な成果を挙げたことを示しており、さらには今後もこの分野での研究をさらに発展させようことを示している。

研究成果の概要(英文)：The achievements of the research were published as a single author book, four co-author books, and three articles in academic journals with refereeing. These publications are based on analysis of Islamic literatures in Malay and Arabic including Islamic law texts and fatwas, and also field researches in Malaysia, Indonesia, and India. These researches contributed for the study on Islamic intellectual interaction between the Middle East, South Asia, and Southeast Asia. The study is also a spring board for the further development of the field in the future.

研究分野：イスラーム研究

キーワード：イスラーム イスラーム法 ウラマー ファトワー 東南アジア 中東 ネットワーク 国家

## 1. 研究開始当初の背景

東南アジアではシャーフイー派が支配的であるといわれつつ、なぜ支配的となったのか、シャーフイー派といっても他のシャーフイー派が支配的である地域と比してどのような特徴があるのか、という研究は極めて限られている。本研究は、先行研究では十分にカバーされていないウラマーのネットワークを件有することで、東南アジアにおけるイスラーム像の新たな一側面を示す。

## 2. 研究の目的

本研究の目的は、19世紀の終わりから20世紀の終わりにかけて、東南アジアのウラマーが中東や南アジアにおける学びの中心地をつなぐネットワークを構築し、近現代の東南アジアでムスリムが直面した諸問題に対処するべくイスラーム法学の受容と展開を進めていった経緯を明らかにすることである。

## 3. 研究の方法

アラビア半島のマッカ、エジプトのカイロ、南アジアのデーオバンドという三つの中心地と東南アジアの関係に焦点を当てる。これらの中心地と東南アジアをつなぐウラマーのネットワークの研究を通して、東南アジアのムスリムが海外にある学びの中心地を拠点にして、近代国家の統制からは自律的なイスラーム法学の展開を実現してきた経緯を明らかにする。本研究では、中東や南アジアにある学びの中心地を拠点とするネットワークの変遷をアラビア語やジャウィの資料を用いて克明に調査する。

## 4. 研究成果

研究期間全体を通じての研究の成果は、単著『国家と対峙するイスラーム マレーシアにおけるイスラーム法学の展開』(作品社)および他の著書、論文にまとめられ、刊行された。これらの研究成果は、マレー語やアラビア語の膨大な一次資料の分析と長年に渡る現地調査に基づく意義深い研究であり、東南アジアのイスラームに関する研究への大きな寄与である。同時に、他にも国内国外での研究発表が続けられ、今後の研究に結びつく現地調査も引き続き行われた。これまでの研究は、東南アジアのイスラーム、中東と東南アジアの間のイスラームについての知的交流に関するこれまでの研究が、着実な成果を挙げたことを示しており、さらには今後もこの分野での研究をさらに発展させようことを示している。

## 5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

## [雑誌論文](計 3 件)

塩崎悠輝、書評「大川玲子著『チャムパ王国とイスラーム』」、『宗教研究』、91巻2号、pp. 304-309、2017、DOI:

[https://doi.org/10.20716/rsjars.91.2\\_304](https://doi.org/10.20716/rsjars.91.2_304)

Yuki Shiozaki. "The Historical Origins of Control over Deviant Groups in Malaysia: Official Fatwas and Regulation of Interpretation", *STUDIA ISLAMIKA*. Vol. 22. 2. 2015. pp. 205-232,

<https://journal.uinjkt.ac.id/index.php/studia-islamika/article/view/1917>

Hiroko Kushimoto & Yuki Shiozaki. "Reconfigurations of Islamic Authority in Malaysia: State Control of Islam and the Role of the Ulama", *Asian Journal of Social Science - Special Edition: Muslim Religious Authority in Modern Asia*. Vol. 42. 2014. pp. 602-619.

DOI: 10.1163/15685314-04205007

## [学会発表](計 9 件)

塩崎悠輝、「マレーシアにおけるロヒンギャ難民問題：難民の公共圏への参加のための諸課題」、NIHU現代中東地域研究上智大学拠点<政治社会学班>ロヒンギャ難民問題に関する研究会第一回、上智大学、2018年2月17日

塩崎悠輝、「アブドゥルカーディル・アル＝マンディリのタウヒード論 東南アジアのムスリムによるワッハーブ派神学への反応」、第4回「東南アジアのキターブ比較研究」(2017年度第2回研究会)、上智大学、2017年7月23日

塩崎悠輝、「外部としてのイスラームと公共性 東南アジアのイスラーム研究と公共圏概念」、現代中東地域研究推進事業・上智大学拠点研究会、上智大学、2016年7月29日

Yuki Shiozaki. "History of Islamic Studies in Japan and Islamization of Knowledge", International Conference on Islamization and Integration of Knowledge in East and SEA Region: Challenges and Prospects, Universitas Islam Negeri Ar-Raniry, Banda

Aceh, Indonesia, 2016年2月1日

Yuki Shiozaki. “ Kitab Jawi Study and Exploration of the Global Ulama Network: Succession of the Islamic Intellectual Heritage among the Southeast Asian Ulama”, Seminar “Southeast Asian Ulama in Global Intellectual Interaction: : Historical Perspectives and Significance in the Present Age”, 上智大学, 2014年9月

Yuki Shiozaki. “ The Control over “Deviated Groups” in Malaysia: Official Fatwas and Regulation of Teaching Interpretation”, International Conference on “Southeast Asian Islam: Legacy and New Interpretation”, Universitas Islam Negeri Syarif Hidayatullah Jakarta, Indonesia, 2014年8月

Yuki Shiozaki. “ The Muslim Society in Japan: The Institutionalization for the Future”, International Conference on ‘Cultural Diversity and the Role of Islamic Institutions in Promoting the Culture of Peace and Harmony’, Grand Park City Hall, Singapore, 2014年6月

Yuki Shiozaki. “The Controversy between Ahmad Hassan and Sayyid Alawi Tahir al-Haddad: The Conflict between the Traditional Shafi‘i School and Salafi in Southeast Asia in 1930s”, International Workshop “Conflicts and Coexistence in the Contemporary Muslim World”, 京都大学, 2014年6月

塩崎悠輝、「ジョホールのムフティー、サイイド・アラウィー・アル=ハッダードとサラフィーをめぐる論争 1930年代の東南アジアにおける法学論争と中東からの影響」, 日本中東学会第29回年次大会、大阪大学、2014年5月

〔図書〕(計 5 件)

塩崎悠輝、他、作品社、『クルアーン的世界

界観 近代をイスラームと共存させるために』, 2017、

塩崎悠輝、作品社、『国家と対峙するイスラーム マレーシアにおけるイスラーム法学の展開』, 2016、

Yuki Shiozaki. & others. *Shaping Global Islamic Discourses: The Role of Al-Azhar, Al-Medina, and Al-Mustafa*. “From Mecca to Cairo: Changing Influences on Fatwas in Southeast Asia”, Edinburgh, Edinburgh University Press. 2015, pp. 167-189

Yuki Shiozaki. & others. *Southeast Asian Muslims in the Era of Globalization*. “Ulama Network as Conveyor of Islamic World Trend: Connecting Malaysian Politics to the Muslim Ummah by Islamic Party of Malaysia (PAS)”, Palgrave Macmillan. 2014, pp. 85-105

塩崎悠輝、他、平凡社、『宗教と現代がわかる本』「ファトワのカーイスラーム世界でウラマーの見解はどのような影響力を持つか」, 2014、pp. 116-119

〔産業財産権〕

出願状況(計 0 件)

名称：  
発明者：  
権利者：  
種類：  
番号：  
出願年月日：  
国内外の別：

取得状況(計 0 件)

名称：  
発明者：  
権利者：  
種類：  
番号：  
取得年月日：  
国内外の別：

〔その他〕

ホームページ等  
[http:// http://shiozakiyuki.net/](http://shiozakiyuki.net/)

6. 研究組織

(1) 研究代表者

塩崎悠輝 (SHIOZAKI, Yuki)

早稲田大学・イスラーム地域研究機構・  
招聘研究員

研究者番号：00609521

(2) 研究分担者

( )

研究者番号：

(3)連携研究者  
( )

研究者番号：

(4)研究協力者  
( )